

令和4年版環境白書

第5章 環境と調和した地域づくり

1. 環境に関わる人づくり

(2) 地域等での環境学習の支援

- ① 専門的な知識や豊富な経験のあるアドバイザーの派遣
- ② 自治会や公民館など地域における環境学習の支援
- ③ 事業者が行う環境学習（社内研修）の支援

(1) 事業目的

多くの県民に環境問題に関心を持ってもらい、自ら考え、課題や展望を見出し、具体的な行動に結びつけてもらうため、地域で行う環境学習や、事業者が行う社内研修などの取組を支援します。

(2) 取組状況

① しまね環境アドバイザー制度 ★1

環境の専門家を「しまね環境アドバイザー」※1として登録し、県内の学校や子供会、自治会、婦人会、企業等で行われる学習会やイベント等に派遣しました。

令和3年度 しまね環境アドバイザー 22名

派遣実績 学校 36校 自治会等 15件

② しまね出前講座 ★1

環境学習の一環として、次の出前講座を実施しました。

ア 宍道湖・中海環境出前講座「宍道湖・中海の水環境を考える」

身近な河川や湖の水環境の現状を話し合い、自分達にできる水質保全対策について考えました。

令和3年度受講実績 学校 31校 参加児童・生徒数 1,134名

イ 下水道出前講座「下水道ってな～に？」

家庭での生活排水対策の意識向上を目的として下水道のしくみや役割を実験などによりわかりやすく解説しました。

令和3年度受講実績 学校 37校 参加児童・生徒数 1,441名

しまねエコライフ推進会議事業者部会の事業等により、以下の取組を行いました。

③ エコアクション21 認証取得事業者への支援 ★2

環境マネジメントシステム「エコアクション 21」※2の認証を取得した企業及び今後取得を目指す企業に向けた、SDGsをテーマとした研修・交流会を開催しました。

④ しまねストップ温暖化宣言事業者への支援 ★2

県内の事業所に従事する社員、従業員が環境問題に取り組むため、SDGsを通して環境問題を学ぶことを目的とした社内研修の実施支援を行いました。

(3) 参考情報

① しまね環境アドバイザー派遣実績

https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/kankyo/kankyo/kyoiku_gakushu/kankyoadvise.html

② しまねエコライフ推進会議 事業者部会 ホームページ (外部サイト)

<https://www.crosstalk.or.jp/stopondanka/>

★1は、第5章-第1節-(1)-①の「(2)取組状況」①②と同内容です。

★2は、第5章-第2節-(1)-④の「(2)取組状況」②⑥と同内容です。

《用語解説》

※1 環境アドバイザー

県内の学校、自治会、企業等が自主的に行う環境問題に関する学習会等へ派遣する講師として、知事が委嘱した者。
環境に関する広範囲かつ専門的な知識や豊富な経験を有する。

※2 環境マネジメントシステム

事業者等が自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境方針や環境目標等を設定し、これらの達成に向けて構築した組織体制、計画活動、責任、業務、手順等のシステムのこと。この国際規格として国際標準化機構 (ISO) が定めたISO14001がある。エコアクション21は、ISO14001規格を参考に、事業者がより取り組みやすくなるよう環境省が定めた日本独自の制度である。

【担当課】

所属名	問い合わせ先
(主) 環境政策課	0852-22-6379